



小坂井 実 議員

桜小学区再編の場合、中学校区とコミュニティ組織はどうなるか

問

桜小学校の学区再編が行われた場合、中学校区とコミュニティ組織についてはどうなるのか。

中学校区は変更、コミは現状のまま

答 教育長

例えば、平島地区が十四山西部小学校区になった場合は、十四山中学校へ進学してもらうことになる。

中学校もそれに対応し整備をしていかなければいけないと考えている。

コミュニティについては貴重な意見や提言をもらったが、財産もあつたりいろいろな関係がある。

学校は別々になつても、もとのままになろうかと思

う。

通学路は計画を立てて整備すべきではないか

問

通学路で車が行き交い危険な場所がある。

通学路は優先的に計画を持ち、前倒しで用地買収をするなど、計画をしっかりと立てて実施すべきと思うかどうか。

関係者の意見を聞き安全確保に努める

答 市長

毎年、PTA、学校、交通指導員等の意見を聞いている。今後とも安全な通学路の確保に努めていきたい

と思う。

また、市民や保護者、スクールガードの協力を得て、子どもの安全確保に取り組んでいきたいと思う。

農業振興地域へ商業等を誘致する考えは

問

市の企業誘致は市長も大変力を入れているが、そのほかに商業、サービス業、または先端産業を、農業振興地域にも誘致できると思う。

そういうものに力を入れる考えはあるか。

関係計画に位置付け誘致を図っていきたい

答 市長

市街化調整区域内での工業、商業地の確保は、関係機関と協議を図り、総合計画、農業振興地域整備計画、都市計画マスタープランに

位置付けをしつかりとし、地元関係者の協力を得ながら、その地域に誘致を図っていききたいと考えている。

市有バスを気軽に借りられないか

問

市有バスの管理規定に、「市長が認めたとき」利用できる特例がある。

十四山村のときは、団体が申し込めば気軽に借りられた。小さな自治体のよさを市も実現すべきではないか。

原則は守らなければならぬ

答 市長

市は、それぞれの決まりの中においてやっていくことが大原則である。

原則は原則として守らなければならぬことを十分理解してほしい。